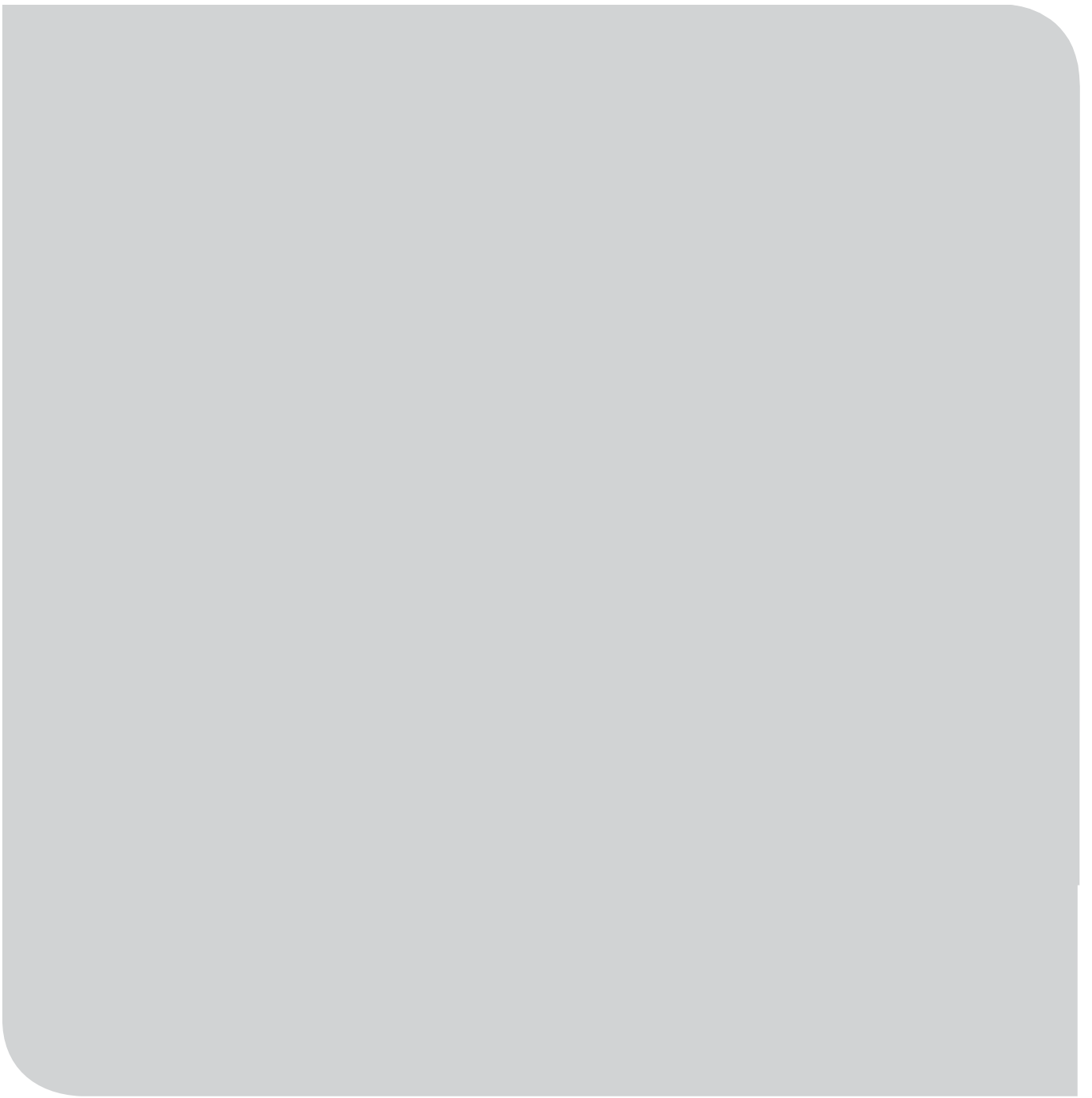


倫理規定

2023 年 6 月

coesia



見出し

COESIA と企業の社会的責任

トップメッセージ	6
COESIA グループ	7
当グループの使命	7
当グループの価値観	7
社会的責任に対する COESIA の考え方:社会的結束の推進役	8

COESIA 倫理規定:人を中心に

9

1. 前文	9
2. 利用マニュアル	9
3. 社員、クライアント、供給業者、環境、地域社会との関係に関するガイドライン	10
4. 社員の行為に関する基準	14
5. 懸念についての取扱い	18

トップメッセージ

COESIA グループでは、倫理的行動があらゆる企業家活動の中核を成す基礎的な要素であるべきだと考えています。また、社会的関係を促進し、向上させるに当たり、企業の責任が文化的な役割を担うべきだと考えます。当グループ企業は、事業を行う地域社会における社会的責任・環境への責任を発展させ、地域社会の繁栄とクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献します。

COESIA 倫理規定を世界的レベルで導入することによって、COESIA グループ全社共通の体系的な方法で、全社員が企業の社会的責任に関するプロジェクトを推進させ続ける機会がもたらされます。

当グループの価値観をできる限り確実かつ簡潔に実現するため、全社員が一丸とならねばならないと考えています。責任あるやり方を重視すれば、日々の活動に社会的成熟や文化的・経済的改善が現れるでしょう。

また、率直な議論を行うことによって、業務へのアプローチや企業理念、イノベーションの可能性に関する意見や提案の交換を進められる事業環境を推進し続けたいと考えています。

こうした価値観を日常的に実践するため、これまで以上に責任ある企業グループへ向けたこのさらなる一歩が、当グループと関わりのあるすべての人や組織によって支持されることを願っています。支持を得られれば、事業を行っている地域社会との間にますます有意義で責任のある関係を築くことができ、当グループは持続的な発展によりよく貢献できるでしょう。

Isabella Seràgnoli

COESIA グループ

COESIA はイノベーションを中心とした産業ソリューションを提供する企業グループです。本社をイタリアのボローニャに置いて世界的に事業を展開しており、Isabella Seràgnoli 氏によって完全所有されています。

COESIA グループの企業は、以下の業界をリードしています。

- 先進的な自動機械および素材
- 産業行程ソリューション
- 精密ギア

COESIA グループは、消費財、たばこ、医療、航空宇宙、レーシング・自動車、電子機器等の幅広い業界の大手企業をクライアントとしています。

当グループの使命

COESIA グループは、ステークホルダーのため、長期的に持続可能な経済的、社会的、環境的価値を生み出すことに重点をおく民間所有のグループです。

当グループの価値観

敬意：

- 人に対する敬意
- 規則に対する敬意
- 地域社会に対する敬意
- 環境資源に対する敬意
- 経済的資源に対する敬意

敬意は、厳密さと誠実さを含意する。

責任：

- 自己の決断と行動の結果に対する責任
- 模範を示して先導する責任
- 公正なリーダーシップを実践する責任
- 熱心に取り組む責任
- 成果を達成する責任
- 才能を伸ばす責任
- 功労に報いる責任

グループの責任だとしても、それは個々の責任に端を発するものである。

知識:

- 文化に由来する知識
- 地域に由来する知識
- 関わりに由来する知識
- 経験、リサーチ、訓練、教育に由来する知識
- 仕事上での成長としての知識

敢えて賢明であれ。

情熱:

- 製品に対する情熱
- イノベーションに対する情熱
- 卓越性に対する情熱
- 美に対する情熱
- 仕事に対する情熱
- 業績に対する情熱

情熱を持つことによって、達成前であっても成果を思い描くことができる。

社会的責任に対する COESIA の考え方: 社会的結束の推進役

クライアントに対する高品質の製品・サービスの供給、グループ内の企業のために働くすべての者への公正で敬意を払った行動、透明性のあるコミュニケーション。COESIA グループに属する企業は、これらの水準を基に評価されます。当グループは、すべてのステークホルダー、特にクライアント、社員、事業を行う地域社会からの信頼と尊敬を得ることを全社共通の目的としています。

COESIA グループは、優れた経済的成果の達成、組織の効率性と有効性、そして当グループの価値観に従った行動の上にビジネス・リーダーシップが築き上げられることを十分に認識しています。当グループ企業はすべて、事業地域において社会的結束の中心的な役割を果たすべく、企業の社会的責任の原則をあらゆる活動に取り込むこと、および健全な経済的目標の達成と社会的発展・環境保護とを両立させることに尽力します。

COESIA 倫理規定:人を中心に

1. 前文

COESIA は、事業活動を行うすべての地域社会のために経済的・社会的価値を創造し、環境保護を行って、地域レベル、世界レベルでの持続的発展の追求に貢献する社会的責任のある企業グループとしても地位を確立することを目指しています。

COESIA では、グループ企業として社会的責任を促進し、社員とステークホルダーの行動を率いる取組みを明確に示すべく、指導的立場にある国際組織¹がこれに関して採り入れている原則に沿って、当グループ独自の倫理規定を採用することとしました。

本倫理規定を皆さんの日常生活の一部にしようとするなら、COESIA の社員およびその他のステークホルダー全員がこの倫理規定を共有し、尊重し、推進することが必要です。つまり、倫理規定は意思決定の指針および手助けとなるツールであり、当グループの全企業が維持する取組みとステークホルダーに期待することを定めることにより、COESIA の経営陣と社員がどのように行動すべきかを明確にしています。

COESIA にとって、目標の達成とそれを実現するために用いる方法は等しく重要なものです。そのため、本倫理規定は、個人と個人のニーズ、価値観および願望に関する中心的な重要性を尊重、強化しつつ、正直で、誠実な、かつ、責任ある事業活動を手助けする役目を果たすことができます。

本倫理規定は、当グループの起業者と社員によって示される共通の価値観と理念を盛り込んだものです。COESIA グループに属する企業の評判を絶えず守り、向上させること目指して、全員が本倫理規定を遵守し、実践する義務を共有します。

COESIA 倫理規定は、会社の経営、管理、およびコンプライアンスに関するモデルの基本的側面を有しています。

COESIA グループ企業は、倫理規定の真価を体現するグループ社員が日常的に用いる手引きとして本倫理規定を全面的に実施するため、将来行われるあらゆる修正を含め、本倫理規定を当グループのステークホルダーすべてに伝達し、情報・学習の専門プログラムを通じてその認知と理解を促進することを保証します。

COESIA は、本倫理規定の全社員による遵守を監視することが重要だと考えています。このため、経営上の決定と社員の行動がどの程度効果的に本規定のガイドラインに従っているかについて評価と監視を行い、また、本倫理規定が明確さ、内容の適切さ、効率性、完全さ、一貫性、利用しやすさという点でどのように認識されているかについて分析する予定です。

現行の倫理規定は取締役会によって承認されたものです。

2. 利用マニュアル

¹ 国際労働機関 (International Labour Organization: ILO)、国際連合 (United Nations)、グローバル・コンパクト (Global Compact)、経済協力開発機構 (Organization for Economic Cooperation and Development: OECD)、欧州委員会 (European Commission)

本倫理規定は、COESIA グループ企業の社員と供給業者の行動の方向付けおよびサポートを目的とした価値観、ガイドライン、基準であり、他のすべてのステークホルダーに公開されるべきものについて説明する文書です。本倫理規定は会社の経営、管理およびコンプライアンスに関するモデルにとって不可欠な要素であり、全社員が遵守しなければならない一連の指示が含まれます。

倫理規定の対象 COESIA グループが完全に支配する企業のために働くすべての者（取締役、理事、管理者、社員、臨時職員、コンサルタント、その他あらゆる種類の従事者を含みます）のほか、クライアント、供給業者、地域社会のすべての構成員およびステークホルダーを対象とします。

適用と使用 COESIA グループが完全に支配するすべての企業に適用されます。

COESIA は、本規定を改善、更新し、会社の変化に沿ったものにするためのあらゆる提案や建設的な投稿を歓迎します。

入手 COESIA 倫理規定のコピーは、当グループのウェブサイト(www.coesia.com)で入手することができます。

3. 社員、クライアント、供給業者、環境、地域社会との関係に関するガイドライン

このガイドラインは、COESIA グループ企業による、下記のステークホルダーに対する関わり方と態度／行動について規定するものです。

- COESIA グループを構成する企業で働く社員ほかすべての者（取締役、理事、管理者、臨時職員、コンサルタント、その他あらゆる従事者を含む）
- クライアント（COESIA グループに属する企業から商品・サービスを購入する者）
- 供給業者（COESIA グループ企業が原材料、半仕上げの材料、設備、機械、その他企業活動の実施に必要なあらゆる商品・サービスを購入するすべての会社または専門家）
- 環境（COESIA グループ企業の事業運営によって直接的・間接的に影響を受ける、当グループ企業が事業を行う場所の生態系およびすべての天然資源）
- 地域社会（非営利組織、労働組合、公共団体、学校、大学など、COESIA グループ企業が事業を行う地域（イタリアまたは世界の他の地域）に拠点を置き、当グループ企業が関係を維持する人々および組織）

3.1. 社員との関係に関するガイドライン

現地法で認められる場合、COESIA は社員に関して以下の事項を行います。

3.1.1. 下記を行うことにより、個人を中心に据えた社会的責任モデルを、個人の会社への貢献と参加、クオリティ・オブ・ライフとともに推進する。

- 3.1.1.1. 社会化、チームワーク、チーム精神を育む取組みをサポートすること。
- 3.1.1.2. とりわけ社員の職場環境の改善を目指した社会プロジェクトを維持すること。

3.1.2. 下記を行うことにより、卓越した専門性を育み、人的資源・知的資本に投資する。

- 3.1.2.1. 全社員に対する研修を推進し、社員の専門知識を向上させ、意思決定におけるより多くの責任と自主性を奨励すること。
- 3.1.2.2. 全社員の才能も育みつつ、最も才能のある人材を引き付けること。

3.1.3. 下記を行うことにより、選考過程と人事管理における機会と待遇の均等を確保する。

- 3.1.3.1. 専門的能力と、特定の役割を果たすのに必要な適性のみを考慮すること。
- 3.1.3.2. 女性社員の専門的能力の開発、および女性のキャリアアップを妨げがちな文化的固定観念の克服を奨励すること。
- 3.1.3.3. 特別な組織的解決策と企業の福祉方針を通じ、仕事と私生活・家庭生活との両立を支持すること。

3.1.4. 下記を行うことにより、達成した成果に基づく賃金体系、表彰・報奨金制度の構築を行う。

- 3.1.4.1. 社員による目標達成、責任の引受け、イノベーション志向、創造力の応用に報いる方法として、公正で透明性があり、かつ、功績に基づいた方法を採用すること。

3.1.5. 下記を行うことにより、職場の安全性を保証し、社員の健康を守る。

- 3.1.5.1. 可能な限り最高の水準を追求すること。
- 3.1.5.2. 意識向上に向けた取組みや、正しい栄養摂取と適切な運動の奨励を目的とする会社の方針を活用して、傷害と疾病の防止を基礎とした「安全衛生の文化」を推進すること。

3.1.6. 協力的で満足できる職場を育む状況を創出し、対話と相互理解に基づいて労働組合と連携すること。

3.2. クライアントとの関係に関するガイドライン

COESIA はクライアントに関して以下の事項を行います。

3.2.1. 下記を行うことにより、透明性のあるコミュニケーションを行い、クライアントが確実に満足する方法で期待に対応すべく全力を尽くす。

- 3.2.1.1. 製品とサービスについて、明確かつ詳細な情報を提供すること。
- 3.2.1.2. 製品の使用と環境への影響に関連した最も重大なリスクについて、クライアントに説明すること。
- 3.2.1.3. アフターサービス、訓練技術職、クライアントの苦情を処理／管理するためのシステムを採用すること。
- 3.2.1.4. クライアントからの要求に耳を傾け、認識される満足水準を定期的に観察すること。

3.2.2. 下記を行うことにより、長期的な環境的インパクトを追求しつつ、高品質な製品と技術革新を推進する。

- 3.2.2.1. 市場で入手可能な最高の品質水準を確保し、さらに特定の認証を取得すること。
- 3.2.2.2. 技術革新に焦点を当てた研究を実施すること。
- 3.2.2.3. 環境への影響を減らすと同時に、クライアントに対して最高水準の技術性能を提供する機械や部品を生産すること。

3.2.3. ブランドの品位やクライアントと自己の商標を守るため、下記を行うことによって製品偽造に積極的に対抗する。

- 3.2.3.1. 司法当局によって偽造の罪を犯していると判断された組織に対して、機械や設備、フォーマット、予備部品、技術的支援の提供を拒否すること。
- 3.2.3.2. 偽造防止方針の詳細についてクライアントに説明し、供給業者とともにその方針を積極的に推進すること。
- 3.2.3.3. 偽造防止機器の採用に際して技術上の専門知識をクライアントに提供すること。

3.2.4. 下記を行うことにより、社会的責任に関するクライアントの方針と戦略をサポートする。

- 3.2.4.1. COESIA グループ企業が供給業者として関与する場合、その社会的責任に関する基準・手続に適合させるためにクライアントが要求する事項に対し、適切な対応を行うこと（特定の認証の導入、開発途上国内の製造工場で児童労働を利用していない旨の証明、クライアントが採用する社会的責任に関する条件・手続の尊重など）。

3.3. 供給業者との関係に関するガイドライン

現地法で認められる場合、COESIA は供給業者に関して以下の事項を行います。

3.3.1. 下記基準に基づいた選考・評価・管理プロセスを適用する。

- 3.3.1.1. 提供されるサービスの水準（能力、品質、納期厳守、支払う金額に見合うだけの価値）
- 3.3.1.2. 契約上の義務の遵守
- 3.3.1.3. 利益相反の不存在
- 3.3.1.4. 現行の法律と労働協約の適用（下請供給業者網における適用も含む）
- 3.3.1.5. 企業の社会的責任に導かれる戦略・行動の推進と採用

3.3.2. 下記を行うことにより、サプライチェーンを支える協力的アプローチと契約条件を推進する。

- 3.3.2.1. イノベーションの共同計画・共同促進を奨励すること。
- 3.3.2.2. 合理的な支払方法と支払日程について合意すること。

3.4. 環境との関係に関するガイドライン

COESIA は以下の事項を行います。

3.4.1. 下記を行うことにより、持続可能な開発を促進する。

- 3.4.1.1. 環境に対する企業の直接的・間接的な影響を徐々に軽減させることを目指して、法律および国内的・国際的な合意で定められる環境基準を採用すること。
- 3.4.1.2. 製品のライフサイクル（計画、製造、輸送、操作、保守、最終的な解体・処分の各フェーズ）にわたって、環境への影響の軽減につながり得る技術革新の開発に全力を尽くすこと。
- 3.4.1.3. 原材料とエネルギーの消費を減らして製造効率を上げる、工程関係のイノベーションの開発に全力を尽くすこと。また可能な限りにおいて、技術性能を低下させない原料と製品のリサイクルおよびリユースのシステムを導入すること。

3.4.2. 下記を行うことにより、環境保護責任を促進する。

- 3.4.2.1. 環境問題、および自社の活動の環境への影響の軽減方法について、社員を教育すること。
- 3.4.2.2. サプライチェーン全体に、環境の持続可能性に対する認識を広めることに貢献すること。
- 3.4.2.3. 事業運営による環境への影響の軽減を目的としたあらゆる企業活動と取組みについて、地方自治体と連絡を取ること。

3.5. 地域社会との関係に関するガイドライン

当グループ企業の所在する地域社会におけるクオリティ・オブ・ライフを高めるため、また、COESIA が毎年定める優先事項に従って、COESIA は以下の事項を行います。

- 3.5.1. 下記を行うことにより、地域社会のニーズに関して、市民社会、地方自治体、学校、大学をサポートする。
 - 3.5.1.1. 社会問題、健康問題、福祉問題に対処する取組みや、文化的プロジェクト、教育プロジェクトに資金拠出すること。
 - 3.5.1.2. 公的機関や民間機関での社員のボランティア活動を推進し、そうした機関で社員が管理的役割を務めることを推進すること。
 - 3.5.1.3. 若者、特に社会的・経済的に排除されるリスクのある者に対して、実習の機会と「労働制奨学金」を提供すること。

4. 社員の行為に関する基準

4.1. 一般的な基準

COESIA グループは、当グループの評判を守るため、本倫理規定に記載する価値観とガイドラインに従って行動することを全社員に求めます。社員は、以下の事項を行わねばなりません。

- 4.1.1. 現行の国内法と国際法を遵守する。
- 4.1.2. 現行の倫理規定に記載される価値観とガイドラインに沿った方法で行動する。
- 4.1.3. 専門知識を深め、専門的能力を向上させるために最善を尽くす。
- 4.1.4. 次の基準を採用することにより、自社と他の COESIA グループ企業との間のあらゆる潜在的な利益相反について、適切に対処する。
 - 4.1.4.1. 個人的な利益と COESIA グループ企業の利益との間に相反関係を生じさせ得るあらゆる状況について、客観的な評価を行う個人的責任を負うこと（特に意思決定プロセスへの関与が求められる立場にある場合）。また、そのような状況について当グループに知らせること。
 - 4.1.4.2. 勤務するグループの会社が書面で明示的に認める場合を除き、利益相反を伴う可能性のある外部での職業活動に従事したり、他企業での管理的立場に就いたりしないこと。

- 4.1.4.3. 親族、友人、仲間や便宜を求める他の者への仕事の提供(もしくは仕事を提供するという約束)をしたり、特定の供給業者や下請業者に有利になるよう特別扱いしたりするなど、会社の利益に反するいかなる種類の便宜供与も行わないこと。
- 4.1.4.4. 個人的な便宜を図ってもらう目的で金銭や贈答品等の謝礼を提供せず、こうしたものを提供する約束をしないこと。
- 4.1.4.5. 同僚や第三者、COESIA グループの供給業者や供給業者になる可能性のある者から提供される金銭や贈答品を受領しないこと(純粋な記念品である場合を除く)。第三者が贈答を行うことを望む場合、贈答の申し出を受ける社員は、COESIA の企業方針により個人的な贈答品の受取りが禁じられており、したがって贈答品は会社に預けられた上で、非営利組織に寄付されるか、特定の場合には、贈答者に返却されることとなる旨を申出者に伝えなければならない。いずれにしても、そのような贈答品は適度な性質、適度な価額のものでなければならず、COESIA グループに困惑を生じさせたり、当グループの評判を傷つけたりするものであってはならない。
- 4.1.4.6. 友好的なビジネス関係を維持するために使用する場合を除き、会社の交際費を不当に使用しないこと。
- 4.1.4.7. そうでなければ当グループの企業が得られるはずの潜在的な事業機会について、自らのために確保したり他の企業にほのめかしたりしないこと。
- 4.1.4.8. COESIA グループ企業と自己の親族・友人との間の直接的・間接的な事業関係、もしくは当グループ企業と、友人・親族が職業的利益、経済的利益、金銭的利益等の利害を有する他の会社との間の直接的・間接的な事業関係に関連した意思決定に参加せず、会社の選択に影響を与えないこと。
- 4.1.4.9. 当該利益が自己の判断や職業上の行動に影響を与え得る場合(特に当グループ企業がその会社について下し得る決定に関して)、直接的に、もしくは友人・親族を通じて間接的に、他社の財務的利益(株式、財物、出資金等)を保持しないようにすること。また、そのような状況が発生した場合には、確実に当グループに知らせること。
- 4.1.4.10. 個人的な利得や利益を得るために社外秘情報²や機密情報³を不正使用しないようにすること。
- 4.1.4.11. 潜在的な利益相反案件や当グループ企業に悪影響を及ぼし得る状況の変化について、書面で汚職行為防止委員会に連絡することにより、当グループに報告すること。

² 「社外秘情報」とは、COESIA グループ企業またはその他の会社に関する未公表の情報で、社員が業務の過程で入手するものをいいます。たとえば、他社の買収や売却、他社との合併の可能性についての情報が社外秘情報に分類され得ます。

³ 「機密情報」とは、当グループ外の者(競合他社や供給業者、クライアントなど)の手に渡った場合に、当グループ企業の利益を害するおそれのある取扱注意情報をいいます。

4.2. 内部的な企業行為に関する基準

社員は全員、以下の事項を行わなければなりません。

4.2.1. 下記を行うことにより、協力を促す職場、優れた業績を評価する職場の創出に貢献する。

- 4.2.1.1. 提案を示す姿勢を保ち、問題解決を重視すること。
- 4.2.1.2. 同僚との対話を促進し、同僚を尊重するように行動すること。
- 4.2.1.3. 性別、民族的アイデンティティ、国籍、宗教、年齢、障害、性アイデンティティ、性的嗜好、政治的信条、労働組合に関する信条について、いかなる差別的態度もとらないよう特別の注意を払うこと。また、モラルハラスメント⁴のほか、個人や個人の尊厳・感情を害するおそれのある、職場でのあらゆる形態の心理的ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、身体的ハラスメントに反対すること。

4.2.2. 下記を行うことにより、会社の資源を適切に使用する。

- 4.2.2.1. 会社の有形財産⁵や知的財産を使用する際には、浪費や損傷を避けるために最大限の注意を払うこと。
- 4.2.2.2. 乱用や不正使用、盗難を防ぐため、会社のあらゆる有形財産や知的財産⁶の慎重な保管と保護を目的とした措置・行動を採用すること。

4.2.3. 下記を行うことにより、職場環境のほか、自己と同僚、地域社会全体の安全衛生を守る。

- 4.2.3.1. 職場の環境や安全衛生に関する社内規則・手続に沿った行動を維持すること。
- 4.2.3.2. 社内規則・手続を改訂する必要があるかどうか注意を払うこと。
- 4.2.3.3. なんらかの危険な状況や社内ルールの不遵守があった場合、直属の上司に直ちに報告すること。

⁴ 「モラルハラスメント」とは、職場で個人や集団に対し、嫌がらせをし、または孤立させたり不利益をもたらしたりすることを意図した、一定の期間に渡って継続する積極的差別をいいます。たとえば、上司が部下に対して差別的行為をしたり、部下が上司の権限を脅かし、上司に対して差別的行為をしたりする例などがあります。

⁵ 「会社の有形財産」とは、あらゆる種類の製品、設備、家具、敷地、車両、コンピューター、ソフトウェア、銀行口座、クレジットカード、電話、文書、保管書類等、COESIA グループの企業が所有する一切の実体物をいいます。

⁶ 「会社の知的財産」とは、新規のアイデア、発明および特許の開発に関連する、コンピューターのパスワード、プログラム、ソフトウェアや組織図、データフローチャート、社内構造データ、工程、製造方法、プロジェクト、計画、設計／意匠、実現可能性調査、機密情報、およびあらゆる知的財産を含め、COESIA グループの企業に属する一切の無形資産をいいます。

4.3. 社外での行動に関する基準

COESIA グループの全社員は、以下の事項を行わなければなりません。

4.3.1. 下記を行うことにより、企業活動の対象に対して慎重な姿勢を取る。

- 4.3.1.1. 個人データや企業データの保護を目的とした、電子データまたは紙媒体のデータに関する、プライバシーおよびあらゆる内部手続に関する現行の法律を尊重すること。特に、以下の事項を禁止するルールを遵守すること。
- 第三者(親族、友人、知人を含む)に対する情報の不正供与
 - 手段や形式(電子媒体、紙媒体など)を問わず、新規のアイデア、発明、特許の開発に関連する文書や情報の不正削除・複製

4.3.2. 業務に関する外部コミュニケーションについては、正直に、正確に、包括的な形で、直ちに、かつ、明確な許可を得た後にのみ行う。特に、以下のとおりとする。

- 4.3.2.1. マスコミとのやり取りについてはすべて、コーポレート・コミュニケーション部門の責任事項である。インタビューに応えたり、当グループについて公式声明を行ったりするよう報道陣やマスコミ関係者から求められた場合、当グループの社員は事前にコーポレート・コミュニケーション部門に連絡しなければならない。

4.3.3. COESIA グループが事業を行う地域社会の文化や伝統を尊重する。

4.4. 経営陣の行動に関する基準

経営陣は全員、以下の事項を行わなければなりません。

4.4.1. 下記を行うことにより、本倫理規定の周知を社内外で促進し、ガイドラインに沿った企業方針の採用を推進する。

- 4.4.1.1. 業務慣行において本倫理規定の遵守がいかに重要であることを示すに当たって、他の全社員の模範となること。
- 4.4.1.2. 本倫理規定で定める行動に関するガイドラインと基準に沿った形で、新たな手続を採用するか、既存の手続を改定すること。

4.4.2. 下記に従って、会計、税務、投資、管理、予算編成に関するあらゆる文書および貸借対照表の作成、登録、取扱いを行う。

- 4.4.2.1. 誠実性、透明性、明確性、正確性、完全性、適時性、一貫性の原則を常に遵守する。
- 4.4.2.2. 現行のすべての法令を厳格に尊重する。
- 4.4.2.3. 会社内での地位に適切な責任・権限のレベルを常に尊重する。
- 4.4.2.4. 検証可能な方法で、かつ完全に企業手続を遵守し、会計に適用されるあらゆるルールに慎重に従う。

4.4.3. 下記を行うことにより、人事管理において、成果に基づく報酬、公正な実施、昇進機会の均等の各原則が守られるよう万全を期す。

4.4.3.1. 雇用の開始、職務分担、報酬、研修、昇進、異動、解雇のあらゆるフェーズにおいて、社員の実績、意思決定の公正性および均等機会の原則が決定的要因となるよう徹底すること。

5. 懸念についての取扱い

本倫理規定への違反の可能性について社内外のステークホルダーが提起する懸念はすべて、以下いずれかの方法で報告されるものとします。

- coesia.ethicspoint.com

該当する場合、懸念についての補助文書等、証拠を付すことができます。匿名での情報は受け付けられません。

マイナスの影響が生じるのを防ぐため、プライバシーは保護されます。懸念に関するプロセス全体と、何らかの措置が講じられる場合の当該措置については、関連するプライバシー法を尊重して実施されます。

指定を受けた委員会が懸念についての分析と調査を行います。本倫理規定が遵守されているかどうかを判断すべく、面談やグループ討議（フォーカスグループ）、質問票など、幅広い分析・モニタリング活動が実施される可能性があります。特定の行為が本倫理規定で定めるガイドラインに適合しているかどうか確認するため、懸念の提起がない場合であっても予備調査を行う可能性があります。



www.coesia.com